

第 11 回 船橋市交通ビッグデータ見える化協議会 議事概要

○開催日時：令和 6 年 1 月 30 日（火）14：00～16：00

○開催場所：船橋市役所 職員研修所 6 階 601 研修室

○意見交換内容

これまでの協議会の開催状況や対策部会の結果報告、効果検証、市全体のモニタリング結果について説明し、意見交換を行った。

○議題 1・2 これまでの協議会の開催状況・令和 5 年度第 4 回対策部会の結果報告

【意見】

- ・ 標識等は運転者が容易に理解可能なものとすべきで、それにより効果が変動する。看板での周知では今までと同じことになるので、物理的な変更が必要。
- ・ 歩道を整備すると後戻りできないから、対策を行う順序・筋道を決める必要がある。
- ・ 道路閉塞を伴う交差点改良は苦情の原因になりうるから、検討においては慎重なシミュレーションを要する。
- ・ 生活道路に限定せず、幹線道路の渋滞対策と生活道路の安全対策を組合せた検討とするのはよい方法と考えられる。

○議題 3 対策進捗と効果検証結果について

【意見】

- ・ 事故件数に関する期間の長短の影響は、確率変動も考慮したポアソン分布による検証で排除できる。（ただしコロナの影響は別で、全国俯瞰しても取扱い方法が確立していない）
- ・ ゾーン 30 プラスと組合せた対策効果は数値化こそ出来ていないが、地元から好印象を持たれている。
- ・ 実際の交通量の変動はコロナウィルス蔓延の影響が出た可能性もある。

○議題 4・5 船橋市全体の交通状況のモニタリング結果・まとめについて

【意見】

- ・
- ・ 市境の検討は近隣市と一体で検討を進めるほかないので、千葉国道事務所で大局的な交通状況を分析し、関係市と相談することが合理的と考えられる。
- ・ 道路ネットワークにおいて国県道と市道を同等に扱うのが適当であるか、注意を要する。
- ・ ETC2.0 プローブデータを活用する動きは生活道路対策に限らないので、引き続き関係者間で連携してゆきたい。

○今後の予定

- ・ 今年度の活動は終了。市 HP にて資料を適宜公表予定。
- ・ 次年度活動については 4 月以降各委員へ連絡。

以上

【実施風景】

